

ポランの びるば

発行/国立病院機構 花巻病院
025-0033 岩手県花巻市諏訪 500
TEL 0198-24-0511
FAX 0198-24-1721
発行責任者/院長 和田 裕一

主な内容

P1……就任挨拶
P2……釜石支援のご報告
P3……観桜会を行いました
P4……国立病院機構花巻病院
地域医療連携室のご案内
P5……第19回花巻フォーラム
P6……かなん病棟を新築します・新採用職員紹介
P8……外来一覧・編集後記

就任挨拶

院長 和田 裕一

平成 24年 4月 1日付で花巻病院の院長を拝命いたしました和田裕一と申します。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

当院は北海道・東北唯一の国立病院機構精神科専門病院であり、精神障害医療、認知症医療、重症心身障害医療、医療観察法医療の 4本柱で医療を提供しております。特に他の施設では治療困難な医療、或いは国が担う政策医療を実施し、緊急・最重要度の精神障害者から社会復帰が必要な慢性精神障害者まで、幅広い精神医療を行っております。

治療抵抗性等の症例に対しては、m-ECT(修正型電気けいれん療法)の施行や向精神病薬「クロザリル」の処方昨年度よりスタートいたしました。

また、岩手県中部医療圏の精神科医療の基幹病院としての機能を有し、行政機関や近隣の医療機関・福祉施設との連携を密にし、地域における精神科医療の発展に取り組んでおります。

このように当院は専門分野である精神科医療について、積極的な取り組みを行うとともに、文化祭や看護の日、花巻フォーラム(研究発表)などを通じ、地域の皆様とのふれあいを重ね、開かれた精神科医療を目指しております。

昨年発生した東日本大震災で大きな被害のあった沿岸地域への支援については、当院では岩手県、医師会などからの要請に応じ、心のケアチー

ムを派遣しており、現在も「岩手県こころのケアセンター」からの要請により、岩手県釜石市に医師、コメディカルスタッフを派遣し、震災ストレス相談、保健師からの相談業



務、訪問診療、地域ケア会議への出席、支援スタッフへの教育(講演など)、健康教室、地域の診療機関への情報提供支援などを行っており、今後も継続して支援していく予定です。

このように、前任の吉住昭先生が愛情を込めて育て上げた花巻病院を、そして、吉住昭先生の花巻病院に注いだ精神をしっかりと引き継ぎ、努めて参りたいと思います。

最後になりますが、現在当院では「かなん病棟」の新築工事を行っており、本年 8月には竣工する予定で進めています。一昨年には「さくら病棟」を新築し、今回の工事をもって全病棟が新しい建物になります。入院される患者様により良い療養環境を提供出来るよう努めて参りたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

釜石支援のご報告

第一精神科医師 堀田 洋

私は平成 23 年 10 月より花巻病院に勤務させて頂き、4 月末まで週 2 日のペースでコメディカルスタッフと「花巻病院こころのケアチーム」として釜石へ支援に入っておりました。経験も無かったので、とりあえず「支援者支援をする」「被災者・支援者に負担を掛けない」ことを目標にしました。

釜石市では、8 か所の行政と保健所の出張所のような「生活応援センター」に配置されている保健師さんが献身的に住民への保健サービスを行っていましたので、初めに生活応援センターへの挨拶回りをしました。徐々に関係が出来てくると、いろいろと相談してくれるようになりました。

釜石での主な業務は、保健師さんへのスーパーバイズや同行訪問と保健所で行う「震災ストレス相談室」での被災者へのカウンセリングで、講演・講習なども要望があれば行いました。

悲惨な目にあった被災者の話を聞くことは、私

たちにとってもストレスですが、被災者でもある保健師さんたちのストレスはかなりのものでした。支援者に対する講演も、泣きながら頷いている人がいて、途中からは「集団精神療法」のようでした。本当に大変なことが起こって大変な目に遭った人達がたくさんいることを実感しました。

これまでの活動で「花巻病院心のケアチーム」としては「少しは沿岸部のお役に立てたかな」と感じています。これも一緒に釜石へ行ったコメディカルの方々を初め、花巻病院全体としての沿岸部支援に対する理解と協力があったからです。私個人としても、精神科医として人間として本当に貴重な経験をさせて頂きました。また、どこの馬の骨とも分からない私を暖かく受け入れていただきとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。



観桜会を行いました

医療社会事業専門員 土田 滋

昨年度は、東日本大震災の影響で実施できなかった観桜会も今年は無事開催することが出来ました。デイケアでは、お馴染みの喫茶の出店に加えて、豪華 (!?) 景品付輪投げコーナーも初出店させていただきました。喫茶コーナーでは、ホットコーヒーをメニューに加えたのですが、幸か不幸か天候が良すぎて売れ行きは今一つでしたが、輪投げコーナーでは、某激安店から患者さん方に喜んでもらえそうなものをデイケアメンバーと相談して仕入れ、当日の豪華景品は全て当たりが出て、参加者の皆様には好評を得たのではないかと考えています。

病棟の患者さん方の参加が少々少なかったのが残念でしたが、病棟生活の日常から離れて有意義な楽しい時間を一時でも過ごしてもらえたなら嬉しく思います。

また来年も患者さん方が喜べるような企画を考えて、一緒に楽しい時間を過ごせたらと考えております。

デイケア喫茶もおそらく出店すると思いますので、その際は是非ご来店をお待ちしております。



国立病院機構花巻病院地域医療連携室のご案内

花巻病院では、地域医療連携室を開設しております。地域医療連携室では、受診相談及び受診受付窓口として、柔軟かつ幅広い対応を目指します。

医療・保健・福祉の各関係機関との連携を図りながら、患者様の医療への安心を高めるとともに、地域医療の推進に努めていきたいと考えております。

ご自身、またはそのご家族が

不眠、不安、幻覚妄想、興奮、混乱、躁うつ、自殺願望、ひきこもり、
アルコール、薬物、摂食障害、発達障害、神経症、認知症、
その他の精神症状

でお困りの場合は、地域医療連携室にご相談ください。

はじめて受診される方は、新患予約が必要となります。以下の手順でご予約をお願いいたします。

○予約方法○

1. ご予約の際は「地域医療連携室」にお電話にてご連絡をお願いします。
電話（代表）0198-24-0511
2. 担当者が、受診される方の症状や状態についておうかがいし、
ご予約日時を調整いたします。
※他院受診中の方は、診療情報提供書（紹介状）が必要となります。

○受付時間○

平日（土、日、祝日、年末年始 12/29～1/3 を除く）

8:30～17:15

第 19 回花巻フォーラム

花巻フォーラム実行委員 心理療法士 山村 卓

平成 24 年 3 月 2 日に第 19 回花巻フォーラムが行われました。「みんなの心にともしびを」というテーマのもと、今回のフォーラムは 2 部構成とし、第 1 部では研究発表、そして第 2 部では東日本大震災を取り上げました。

第 1 部の研究発表においては口頭発表 6 件、ポスター発表 12 件という多数の発表があり、最後に優秀な発表に対する表彰も行われました。当院の各部署の取り組みや臨床研究の報告、そしてそれに対する活発な議論が交わされました。日々の実践のなかでの創意工夫や臨床研究の積み重ねが、当院における医療の質の向上に着実につながっていることを再認識できた研究発表でありました。

第 2 部は震災から 1 年ということで、当院の宮古市および釜石市での震災支援活動についての報告の後、国立病院機構釜石病院の土肥守先生の特別講演「東日本大震災を経験して今伝えたいこと」

が行われました。震災発生からの経過、今後の備えや医療支援に期待することなどについて、土肥先生そして釜石病院での経験にもとづいてお話しくださいました。震災が与えた影響の大きさについて実感あらたにし、今後取り組むべき事柄についても示唆に富んだお話を伺うことができました。そして、なにより土肥先生の身振り手振りを交えた、力強く、ユーモラスな語りからは、聞いている我々がたくさんの元気をいただきました。

このたびのフォーラムでは日々の業務を丁寧に行うことの大切さ、そして震災に対しても引き続き取り組みが必要であることを改めて感じました。また当日は会場がいっぱいになるほど多くの方々にご来場いただきました。フォーラムに関わってくださった皆様に心より感謝申し上げます。



かなん病棟を新築します

企画班長 太田 慎一

震災等により遅れていたかなん病棟建替整備が今年1月にスタートし、順調に工事は進んでおり、8月30日に完成予定です。

50床、RC造1階建て約1,500㎡の新病棟は現在、外壁、柱のコンクリート工事を行っていて、大分完成予想図に近い形になってきました。今後はコンクリート工事完了後に窓サッシや内装工事と進んでいきます。

震災の復旧工事による影響で、職人さんの人手

不足が深刻化している状況の中で、予定どおりの進捗状況となっていることは大変すばらしいことと感じています。

このかなん病棟建替整備で花巻病院の病棟建替は一段落となります。ハード面が充実することにより、持ち前の充実したソフト面が活かされて、より質の高い医療が提供できることと確信しています。



新採用職員ご紹介

診療部長 石丸 正吾



この度、縁あって花巻病院に復帰することとなりました。

当院が地域の精神科医療だけでなく、中部圏域の基幹病院として、また国策を推し進めていく国立病院機構の病院として役割を果たしていくためには、皆様ひとりひとりの力がこれからも是非必要です。

若輩者ですが、皆様と手を携えながら共に励んでいきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

第一精神科医師 伊藤 文晃



4月からお世話になっております。まだまだ慣れないことが多いですが、一生懸命がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

看護師 石川 佳央里



4月よりさくら病棟に配属になりました。まだまだわからないことばかりですが、先輩から沢山の知識や技術を学び、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

看護師 菊地 恵衣子



四月よりかなん病棟に勤務させて頂いています。何かと御迷惑をかけると思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導の程宜しくお願ひします。

看護師 藤原 由香



4月よりかなん病棟で勤務させて頂くことになりました。わからない事ばかりで、御迷惑をおかけしてばかりですが、国立病院機構の卒業生として一生懸命頑張りますので、ご指導の程宜しくお願ひ致します。

看護師 石黒 厚子



2月よりお世話になっております石黒厚子と申します。4月よりみずき病棟配属となり全くの新人となりました。勉強すべきことが沢山で今のところ精一杯ですが、乗り切って一人前に動けるように頑張っていくと思っています。今後のご指導よろしくお願ひ致します。

看護師 梅澤 みどり



4月よりわかば病棟に勤務させて頂いております梅澤です。初めての重症心身障害児の看護という事で、わからない事ばかりですが皆様のご指導を頂きながら、頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

医療社会事業専門員 佐々木 僚子

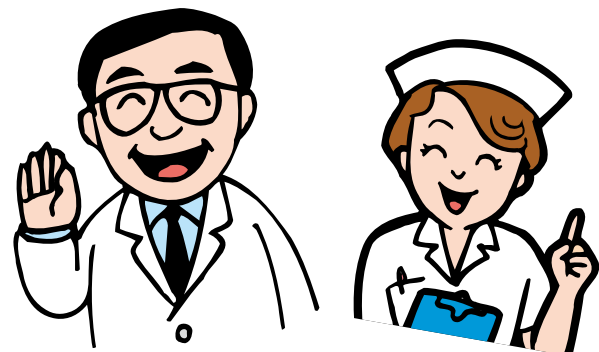


今年度からお世話になります佐々木です。まだまだ未熟で至らぬ点も多くご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、1日でも早く一人前のPSWになれるよう精一杯頑張りますのでご指導の程よろしくお願ひ致します。

非常勤看護師 高田 一恵



4月より外来にて勤務させて頂いております高田です。精神科は初めてなのでわからないことばかりですが、精一杯がんばります。いろいろとご迷惑をおかけしますが、ご指導の程よろしくお願ひします。



外来診療担当表

【精神科】

平成 24 年 5 月 1 日

診察室／曜日	月	火	水	木	金
第1診察室	石丸	伊藤	予約の方のみ診察	伊藤	堀田(洋)
第2診察室		第1・4週 大島		櫻井	有田
第3診察室	渡邊	中嶋		佐藤	中嶋
第4診察室	河上	渡邊		河上	伊東
第5診察室					

※毎週水曜日は休診となります。

※水曜日の新患は、事前に予約された方に限ります。また、デイケア、作業療法は平常どおり行います。

〈編集後記〉

新緑の匂い立つ、素敵な季節になり、若葉が目まぶしい季節になりました。当院でも、かなん病棟の建設も着々とすすみ、新スタッフの採用など新しいスタートの季節を迎えております。今年度も前年度同様、スタッフの絆により一丸となって花巻病院のめざましい進歩を遂げたいと願っております。また、地域の皆様によりよいサービスを提供できるよう心がけて参ります。

広報誌「ポランの広場」も引き続きご愛読頂いている皆様にご報告していきたいと願い、新緑の香りに誘われて、一筆申し上げました。今後とも「ポランの広場」を宜しく願います。

(ふ)

ホームページもご覧ください <http://www.nho-hanamaki.jp/>

